

午後試験

問 1

問 1 では、セキュリティとシステムの運用管理の設計について出題した。全体としての正答率は高く、セキュリティに関わる基本的な考え方については理解されていたと考えられる。

設問 2 の b, e と設問 3 は、正答率が低かった。担当者の意識や行動に依存する手続は、セキュリティの強化策としては十分でないことを理解できていない受験者が多かったと考えられる。

初級システムアドミニストレータは、システムの機能や手続がセキュリティ上で何を目的としているのか、どういう効果が期待できるのかを考えるように心がけてもらいたい。

問 2

問 2 では、初級システムアドミニストレータに求められるネットワーク運用管理において必要な、IP ネットワークの基本的な知識について出題した。全体としての正答率は低く、用語や概念、そしてネットワーク機器の機能について、十分に理解できていない解答が多かった。

設問 1 は、正答率が低かった。サブネットワークの仕組みやサブネットワークを用いた場合のホスト数とネットワーク数について、理解が不足しているようであった。追加できるサブネットワーク数を 254 個とする誤った解答が多かった。

設問 2 については、経路情報を参照しながら転送処理が繰り返されるという仕組みについて、十分に理解できていない解答が多かった。特に、経路情報でデフォルトゲートウェイを参照した際の動作について、エラーとして返送される、又はブロードバンドルータに転送されるという誤った解答が多かった。

設問 3 の g では、同一セグメント内での通信時における、スイッチングハブの転送機能を十分に理解できていない解答が多かった。

問 3

問 3 では、表計算ソフトを利用した投資採算評価について出題した。問題の設定は理解されていたようであり、表計算ソフトでの計算式の基本的な利用方法は理解されていると考えられる。

設問 1 の c では、オヤカといった“対前年比”という設定を十分に理解できていない解答が多かった。

設問 2 は、正答率が低かった。可否判定に必要な各判定値を計算することで正解を導くことができたはずであり、具体的な投資採算評価方法が理解できなかったと思われる。

問 4

問 4 では、データベースの活用について出題した。データベースの活用においては不可欠である SQL の知識の欠如が影響し、全体としての正答率は低かった。

設問 1, 2 では、副照会に関する b と c, 表の別名に関する d と g の正答率が低かった。

副照会や表の別名を使う SQL 文は、実務でも利用することが多いので、十分な知識を身につけてもらいたい。

問 5

問 5 では、売上実績データのクロス集計による分析について出題した。全体としての正答率は高かったが、集計表の読取りに関する前半とデータの分析に関する後半とでは、正答率に大きな差が見られた。

設問 1, 2 は正答率も高く、よく理解されていた。唯一、設問 2 の g だけ正答率が低かった。単に数を比較するだけでなく、経時変化を同時に見ることで微妙な差を読み取る必要があったが、その差に気付いていない解答が多かったためと考えられる。

設問 3, 4 は、総じて正答率が低かった。特に、実績と見込みの差の総和と、差の絶対値の総和との違いについて問うた設問 3 は、正答率が非常に低かった。データ分析における基本的な事項であるので、十分に理解しておいてもらいたい。

問 6

問 6 では、ファイルサーバに蓄積されたファイルのアクセス管理について出題した。全体としての正答率は低かった。

設問 1 の“アクセス権グループの構成員”については、正答率が高く、理解されていた。

設問 2, 3 では、h ~ m の正答率が低かった。“アクセス許可”の設定 (R,C,U,D) と“アクセス禁止”の設定 (NR,NC,NU,ND) を十分に理解できていない解答が多かった。アクセス要件を正しく理解する力と、その設定を適切に行う力を身につけてもらいたい。

問 7

問 7 では、データベース構造の設計について出題した。

設問 1 は、a, c, d, e の正答率が低かった。適切なデータベース構造の設計について十分に理解できていない解答が多かった。データベース構造の設計が不適切だと、どのような問題が起きてしまうかを理解した上で、正しい設計技法を身につけてもらいたい。

設問 2 の E-R 図については、商品と出荷依頼書の多対多の関連を問う f の正答率が低かった。データベースを適切に設計するためには、エンティティ間の関連を正しく把握することが不可欠である。1 対 1, 1 対多, 多対 1, 多対多のすべての関連について、正しく理解することが重要である。

設問 3, 4 のデータベース構造の変更については、正答率が低かった。業務要件を正しく理解する力と、それをデータベース構造に適切に反映する力を身につけてもらいたい。